

「盛岡文士劇」 東京公演

文士劇を次の世代へ ～ 新たな舞台での挑戦

令和5年2月14日 盛岡市交流推進部文化国際課

岩手県盛岡市について

盛岡ブランド宣言

- ・平成18年に「盛岡ブランド宣言」を行う
- ・暮らしの中に息づく自然、街並み、食文化などを「盛岡ブランド」に位置付け
- ・シティプロモーションの先駆的取組

芸術文化創造都市

- ・令和元年度に「芸術文化創造都市宣言」を行う
- ・文学、演劇、民族芸能など、暮らしの中で受け継がれ育まれてきた文化的土壌を有する
- ・芸術文化の創造性を生かした街の魅力向上を進める

交流事業の実施

- ・いわて盛岡シティマラソン
- ・盛岡国際俳句大会
- ・全国高校生短歌甲子園



「2023年に行くべき52か所」世界第2位（米NYタイムズ紙）にも選定！

盛岡文士劇

文士劇とは

- 文士＝作家や文化人が演じる芝居
- 明治の中頃から戦後にかけて各地で上演される
- 最も有名なのは文藝春秋社の「文春文士劇」
(三島由紀夫や石原慎太郎など著名な文士がこぞって出演)

盛岡文士劇の歴史

- 作家の鈴木彦次郎を発起人として、昭和24年に始まる
- 平成7年に復活（盛岡在住の直木賞作家、高橋克彦が座長役）
- **復活後の公演回数は文春文士劇と並ぶ27回**
- **毎年上演される文士劇としては日本で唯一で、最も長く続く文士劇公演と**
言われている
- 毎回チケットは発売とほぼ同時に完売。満員御礼の入場者

- ・ 全国的にも数少ない作家や文化人の舞台表現活動の場。歴史的、文化的価値も高い。
- ・ 地元にも愛され、盛岡でしか観覧できない演劇の舞台として定着



「盛岡文士劇」 東京公演

- 日 時 令和5年5月20日（土） 12:30開演
- 場 所 文京シビックホール 大ホール（収容定員1,802名）
- 入場料金 S席：6,000円 A席：5,000円
- 演 目 現代物「あのなはん」～落語「盗人の仲裁」より～
時代物「一握の砂 啄木という生き方」
- キャスト 高橋克彦(作家)、安藤和津(エッセイスト・コメンテーター)、井沢元彦(作家)、内館牧子(脚本家)、金田一秀穂(言語学者)、羽田圭介(作家)、藤田弓子(女優)、ロバート・キャンベル(日本文学研究者)、石川真一(石川啄木御曾孫)、など

- 盛岡市と東京都文京区が「石川啄木の生誕の地と終焉の地」の縁で友好都市提携していることから、時代物は石川啄木を題材として公演
- 地元盛岡の文士に加え、在京の著名な作家や文化人も出演を快諾
- 今回公演についても、協賛や寄附をいただいた企業名とロゴをパンフレット及び実績報告資料へ掲載



前回東京公演のパンフレット(企業ロゴ掲載)

東京公演で目指すこと

- ・ 市民の暮らしの身近なところに息づく芸術や文化の発信
- ・ 交流人口の拡大と賑わいの創出→将来にわたって選ばれる街を目指す
(第三次産業が業種全体の約 8 割→人口が経済成長や街の活性化のエンジン)

盛岡文士劇

盛岡で受け継がれてきた文化的風土や庶民文化の象徴

東京公演

盛岡の魅力を発信

文士劇って面白い！
盛岡に行ってみたい！

- 石川啄木や金田一京助、宮沢賢治など盛岡ゆかりの文化人は数多くおり、その伝統的な文化を守り育ててきた。
- 今も街並みはその面影を残しており、豊かな情操を育む環境が形成されまちづくりにも大きく影響を与えている。

かかわる人々

- 交流人口・関係人口の拡大
- コロナで減少した
活力の回復とさらなる成長
- 賑わいの創出

文士劇そのもの

- 文士劇を育んできた文化を
未来へ受け継いでいく
- 表現活動の場を守る

自治体としての効果

- 文士劇を通じた
他都市との連携強化

寄附企業に求める事

- 企業版ふるさと納税を活用してご寄附
- 事業周知へのご協力

寄附企業のベネフィット

- 盛岡文士劇東京公演パンフレットへの企業ロゴ掲載
- 盛岡文士劇東京公演事業報告書への企業ロゴ掲載
- 盛岡市広報媒体でのPR
- 盛岡市との関係構築

寄附の使い道

- より多くの方に文士劇の魅力を知っていただき、盛岡の文化に触れるきっかけとなるよう、本公演のPR費用に充てさせていただきます。
- 今後も文士劇公演を続けていくため、キャスト、スタッフが盛岡市以外の会場で舞台経験を踏み、公演内容を充実させていく機会となるよう、大道具など舞台装置の制作費用や当日の設営に要する費用に充てさせていただきます。

寄附目標額：300万円（公演のPR、東京公演の舞台に必要となる大道具など舞台装置の制作に必要な費用）

ご清聴ありがとうございました

ご興味がある企業様からの連絡をお待ちしています

〒020-8530

岩手県盛岡市内丸12-2 盛岡市役所別館 7 階

盛岡市役所交流推進部文化国際課

電話：019-613-8465 ファクス：019-622-6211

電子メール：bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp



5月20日の公演にも
ぜひお越しください！

会場／文京シビックホール
大ホール

料金／S席6,000円、A席5,000円
取扱い／チケットぴあ、カンフェ
ティ、シビックチケット

3月15日（水）発売予定

検索

盛岡文士劇 東京